

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 70 2010年2月

発行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11(財)日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-1227
WWWホームページ <http://reaj.i-juse.co.jp>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会第18回春季信頼性シンポジウム発表募集のご案内

- (日 時) 2010年5月28日(金)
(会 場) 財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル
(主 催) 日本信頼性学会 (後 援) 財団法人日本科学技術連盟
(協 賛) 社団法人応用物理学会、社団法人電子情報通信学会、社団法人電気学会、社団法人日本機械学会、社団法人日本経営工学会、社団法人日本品質管理学会、特定非営利活動法人安全工学会、研究・技術計画学会、社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本開発工学会、日本シミュレーション学会、一般社団法人日本人間工学会、プロジェクトマネジメント学会、IEEE Reliability Society Japan Chapter (依頼中)

< 発表のおすすめ >

例年のごとく総会に併せて春季信頼性シンポジウムを開催いたします。わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思っておりますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思えます。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

< シンポジウム特集号のお知らせ >

各セッションの発表の中から優秀なもの1ないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ（希望があれば原著論文としても受け付けます）としてシンポジウム特集号への投稿を推薦しています。この特集号は、通常よりも短い期間で審査を行います（ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります）。

< 予定セッション構成 >

1. [組織, 管理, 規格, プロジェクト管理面]: 生産システム, 組織改革, 管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例・管理手法適用事例, 人間信頼性, 社会との関わり, または新手法。
2. [試験, 故障解析, 部品, 要素技術の信頼性, ハードウェア面]: 部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析, 物性(接続, 接着, 腐食, 摩耗, 疲労, マイグレーションなど), 全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. [システムの信頼性, 保全性, ライフサイクルおよびソフトウェア面]: システムまたはソフトウェアの信頼性, 保全性, ライフサイクルコスト, リサイクル, リユース, 保全支援活動の設計, 解析, 保証事例・改善事例など。
4. [安全性, リスク]: 産業安全, 製品安全, リスク解析など。
5. [データ収集, 解析]: 情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など。
6. [理論, 一般]: 基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など。

< 参加費と発表者の特典 >

[シンポジウム参加費]正会員・賛助会員・協賛学協会会員 2,000 円，非会員 3,500 円，学生 1,000 円
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者は情報交換会にご招待いたします。

< 発表申込方法 >

申込方法 「発表申込書」に発表概要を記載の上，電子メールにてお申し込み下さい。申込書の Word ファイルは学会ホームページ(<http://reaj.i-juse.co.jp>)にあります。または、学会誌 1 月号に掲載の申込書をコピーして FAX にてお申込ください。

申込期限 2010 年 3 月 1 日 (月) まで

審査結果 2010 年 3 月 8 日 (月) 頃までにご連絡いたします。

発表原稿締切 2010 年 4 月 26 日 (月) ワープロで A4 判 2 枚または 4 枚

申込先 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-1227 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 2009 年度第 1 回フォーラムのご案内

「医療の信頼性・安全性」 - 安心につながる医療に向けて -

医療の信頼性・安全性については多くの方が関心をお持ちだと思います。本フォーラムでは、医療の信頼性・安全性に関する問題を広くとらえ、その活動内容を紹介するとともに、今後の課題やその解決策を議論いたします。

討論の時間もございますので、周りの方にお声かけいただき奮っての参加をお願いいたします。

(日 時) 2010 年 2 月 19 日 (金) 13:00 ~ 17:00

(会 場) 財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 http://www.juse.or.jp/about/location_map2.html

(フォーラム参加費) 正会員・賛助会員 2,000 円，非会員 3,500 円，学生 1,000 円

(申込方法) 下記事項をご記入のうえ、E-mail reaj@juse.or.jp まで送信してください。

氏名，会社・所属，電話番号，mail アドレス，会員番号 (非会員の方はその旨お書きください) 150 名限定 (先着順)

(お申込・お問合せ) 日本信頼性学会事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 (財)日本科学技術連盟 内

電話 03-5378-9853 FAX03-5378-1227 E-mail: reaj@juse.or.jp

(プログラム) 13:00 ~ 13:05 開会挨拶 日本信頼性学会会長

13:05 ~ 13:45 「パンデミックシミュレーションの信頼性」

廣瀬 英雄氏 (九州工業大学 教授)

13:45 ~ 14:25 「医療機器の信頼性

安全性確保に関する医薬品医療機器総合機構の役割」(仮)

小野寺陽一氏 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)

14:25 ~ 14:40 休憩

14:40 ~ 15:20 「医療における情報化の動向と安全管理の必要性」

相澤 直行氏 (財団法人 医療情報システム開発センター)

15:20 ~ 16:00 「医療における安全管理」

鮎澤 純子氏 (九州大学 准教授)

16:00 ~ 16:15 休憩

16:15 ~ 17:00 総合討論 講演者各位

日本信頼性学会 2009 年度第 2 回見学会のご案内

2009 年度第 2 回見学会を開催いたします。会員の皆さまはもちろん、会員以外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

(日 時) 2010 年 3 月 11 日 (木) 13:00 ~ 16:00

(見 学 先) NTT 武蔵野研究開発センターおよび技術史料館

東京都武蔵野市緑町 3-9-11 (JR 中央線「三鷹駅」北口よりバス利用)

(集合場所) NTT 武蔵野研究開発センター 本館 1 階ロビー 12:45 集合

<http://www.ntt.co.jp/islab/access/index.html>

* 詳細はご参加の方に連絡いたします。

(参加費) 会員・学生：無料，非会員：2,000 円

(参加人数) 定員 20 名

(概 要)

NTT 武蔵野研究開発センターには、「情報流通基盤総合研究所」「サービスインテグレーション基板研究所」「情報流通プラットフォーム研究所」「ネットワークサービスシステム研究所」「環境エネルギー研究所」の 5 つの研究所があり、連携しながら研究開発を行っています。

また、NTT 技術史料館は、日本電信電話公社発足以降の半世紀を中心に、NTT グループの電気通信における技術開発の歴史的資産を、系譜化し集大成したものです。

各々の時代の社会的要請に応えるために生み出してきた様々な自主技術の開発における創意と努力を学ぶことは、厳しい国際競争の環境の下でこれからの新しい課題に新しい技術で挑んでいく人達に欠かせない糧となるはずです。新しい世紀を担い、世界をリードしていく人達に、この史料館が創意の源泉として活用されることを期待します。

NTT 技術史料館ホームページ → <http://www.hct.ecl.ntt.co.jp/>

(申込み先) 日本信頼性学会事務局

電話 03-5378-9853 FAX03-5378-1227 E-mail: reaj@juse.or.jp

(申込方法) 氏名、会社名、所属、電話番号、E-mail アドレス、会員番号 (非会員の場合は一般と記入)、をご記入の上、E-mail または FAX でご連絡ください。

(締 切) 2010 年 3 月 4 日 (木)

定員になり次第、締め切らせていただきます。

同業他社の方の参加はご遠慮ください。

IEC ディペンダビリティ規格研究会 開催のご案内

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格 IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 第 75 回 2010 年 2 月 16 日 (火) 18:30 ~ 21:00

第 76 回 2010 年 3 月 23 日 (火) 18:30 ~ 21:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室

(JR 代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩 10 分、地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩 7 分、都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩 10 分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ、保全性プログラムの適用の手引き、IEC

60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い、適用上の問題点を明確にし、最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格、60300-3-11: Reliability centered maintenance、60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。

(問 合 先) 主 査 山内 慎二 (自宅)Tel/Fax 03-3948-7364
副主査 黒田 豊 (自宅)Tel/Fax 042-563-1501

LCC (Life Cycle Costing) 研究会 例会のお知らせ

国際規格 IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004) の英語版を教材として用い、輪読式に翻訳と内容検討、技術的関連事項の調査研究、適用事例収集を行いつつ、メンバー相互の研鑽に励んでおります。

原則として月一回の例会と春秋の発表会への参画、情報収集等 LCC ロードマップに沿った活動を行っております。新規参画歓迎。

(日 時) 2010年2月19日(金) 18:00~20:00

2010年3月19日(金) 18:00~20:00

(場 所) 2月19日:日本科学技術連盟 東高円寺ビル 会議室
(東京メトロ丸の内線「東高円寺駅」下車 青梅街道を新宿方向に約5分)
3月19日:日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室
(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅、地下鉄大江戸線代々木駅
または国立競技場前駅下車徒歩10分)

(資 料) IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004)

(連 絡 先) 研究会主査 夏目 武 natsumetom@ybb.ne.jp
同 副主査 古野 紀雄 n-furuno@ct.jp.nec.com
山内 慎二 yamanouc@mbc.ocn.ne.jp

第6回 日本・中国・韓国 構造および機械システムの最適化シンポジウム

(CJK-OSM6)

(日 時) 2010年6月22日(火)~25日(金)

(会 場) 京都ガーデンパレスホテル

(京都市 地下鉄丸太町駅下車徒歩8分)

(主 催)(財) 日本機械学会

(共 催) ISSMO

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(公式言語) 英語

(参加費) 4月15日以前申込→会員:45,000円 学生:20,000円

4月16日以降申込→会員:50,000円 学生:25,000円

□信頼性学会会員の方は、機械学会会員と同額になります

(お問い合わせ) Cjk-osm6 幹事: 泉井 一浩 (京都大学)

E-mail: dsd-cjkosm6@jsme.or.jp

詳細は, <http://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf10/cjkosm6.html> よりご確認ください.

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
IECディペンダビリティ規格研究会	日科技連 千駄ヶ谷	2/16		
日本信頼性学会 2009 年度第 1 回フォーラム	日科技連 東高円寺	2/19		
LCC研究会	日科技連 東高円寺	2/19		
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会第 63 回シンポジウム	首都大学東京 秋葉原 サテライトキャンパス 秋葉原	3/3		
日本信頼性学会 関西支部 2009 年度第 2 回見学会	㈱クオルテック 他 大阪府堺市堺区	3/5		
日本信頼性学会 2009 年度第 2 回見学会	NTT 武蔵野研究開発 センタ	3/11		
LCC研究会	日科技連 東高円寺	3/19		
IECディペンダビリティ規格研究会	日科技連 千駄ヶ谷	3/23		
日本信頼性学会第 18 回春季信頼性シンポジウム	日科技連 千駄ヶ谷	5/28	3/1	http://reaj.i-juse.co.jp
第 6 回 日本・中国・韓国 構造および機械システムの最適化シンポジウム(CJK-OSM6)	京都ガーデンパレスホ テル 京都市	6/22~25	1/10	http://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf10/cjkosm6.html
Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling 2010 (APARM2010)	Victoria University of Wellington New Zealand	12/2~4	6/15	http://msor.victoria.ac.nz/Events/APARM2010/APARM2010